

ジャック・コポーというのは、ロシアのスタニスラフスキーのように、演劇の新しい様式を作ってそれを実践した人です。そしてドゥクルーはマイムの基礎理論を確立しました。それはローマやギリシアの彫像、イサドラ・ダンカン、あるいは表現主義舞踊などに範を求めたものでした。ドゥクルーが創造した基礎理論とはいっても、それは、パントマイム芸術のなかの、ひとつの位相であるにすぎません。基礎理論を創造するというのは、必ずしも、ただちに劇を創造することを意味するわけではないのです。たとえば、アルファベットを組み合わせる単語を構築する人を指して、この人は物書きですとはいえないようなものでしょう。しかし、ドゥクルーがこの分野の基本原理に関する大家であることは間違いなく、私たちは、きわめて独創的なマイムの基礎理論をかれから学んだものでした。ドゥクルーの最初の弟子にあたるのがジャン・ルイ・バローです。彼は、動きからの創造をテーマにドゥクルーとともに活動を続けましたが、やがて師のもとを去り、台詞のある映画や演劇で活躍しました。そして二人目の弟子となったのがこのマルセル・マルソーです。1944年のことでした。

P.80-81 「????????」 ?月号 短期集中連載 特別インタビュー

